

各協同組合からのお知らせ
 MELON の協力団体である各協同組合が取り組んでいる、環境に関する情報をご紹介します。

みやぎ生活協同組合からのお知らせ

調べてみよう酸性雨 親子環境学習会

日時：7月26日(土) 10:30～12:00
 会場：ウイズ研修室
 参加費：無料
 講師：北條祥子氏(尚絅学院大学生生活環境学科教授)
 参加人数：親子30人(小学校高学年・中学生)
 申込締め切り：7月18日(金)
 内容：①どうして酸性雨が降るの
 ②アサガオの花びらが酸性雨にあたるとどうなるのかな？
 ③酸性雨の影響にはどんなことがあるの
 ④色々な雨を調べてみよう
 ⑤酸性・アルカリ性ってなあに



©MIC



参加のお申し込み・問い合わせはこちら

〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2 みやぎ生協生活文化部 環境活動事務局
 TEL022-218-3880 FAX022-218-3663 メール:kankyok@snet.coop.or.jp

一水辺に行ってみよう

定義・ホタルの観察会

日時：7月5日(土)18:00～21:00
 集合/解散場所：仙台市青葉区定義
 ふれあいセンター(17:50集合)
 参加費：500円
 (高校生以下半額、未就学児無料)

七ツ森・蛇石せせらぎ公園観察会

日時：8月2日(土)10:30～14:30
 集合/解散場所：仙台駅西口
 (8:45集合/15:30解散)
 参加費：1,000円
 (高校生以下半額、未就学児無料)



©MIC

水質測定参加者 募集

測定期間：7月20日(日)～8月21日(木)



MELON20周年をめざせ!

50人リレートーク



第21回目の執筆者
 あん・まくどなるとさん
 (国連大学高等研究所
 いしかわ・かなざわ
 オペレーティング・ユニット
 所長)

季節はずれの台風がとおりすぎた晩春。気候が読めない今日このごろ……そう感じながら松山の田んぼに立ち、緑の毛布に覆われた大崎平野を眺めていた。伊達政宗の米どころとして食の安定を守ってきた、層の厚いベースを視覚から感じる。

ちょうどその1週間前、石川県輪島市千枚田で手植えを経験したところだった。つよい潮風に吹き倒されそうになりながら、裸足になり5アールもない田んぼに手植えをした。そこから山に入ると、166人が住む釜蔵限界集落がある。限界集落——この言葉は個人的に好きではないが、最近さまざまな意味で用いられているようだ。

森に囲まれ美しい自然を擁する中山間地域。だが、食料供給の点から考えると、厳しい自然環境

である。大崎平野とかなり違う層の厚さをもって、食づくりの辛さを痛感する能登半島。「食の安全」という言葉をよく耳にする。衛生問題ばかりが連想されがちだが、わたしは「食の安全」を「供給」という意味で考える。化石燃料が高くなり、近い将来なくなっていく。有限資源をもとにして食をつくっている現代社会のなかで、孫の代まで「供給」という意味での「食の安全」が届けられるかどうか、不安だ。そのような思いを胸に、この4月からは、宮城大学客員教授をつとめながら今の仕事をはじめた。「日本における里山・里海のサブ・グローバル評価(里山里海SGA)」と題し、石川県をはじめ日本全国の美しい里山・里海を後世に残すため、さまざまな取り組みをおこなっている。仙台、金沢を往復しながら、ときには海外へ。

日本の国土の約4割が里山といわれている。地域のかたがたと協働し、自然環境、生態系保全、そして持続社会への道をとともに歩み、美しい自然環境が保持されることを切に願う。

次号執筆者紹介
 …未定…
 都合により現在調整中です。

